2008 年 6 月 30 日

報道関係各位

クレディ・アグリコル生命保険株式会社
株式会社 り そ な 銀 行

変額個人年金保険「花ざかり２」の販売開始について

～りそなホールディングスとの共同開発による「花ざかり」シリーズ＜第 2 弾＞～

クレディ・アグリコル生命保険株式会社(代表取締役社長:リチャード・サットン)と、株式会社りそな銀行(代表取締役社長:水田　廣行)は、2008 年 7 月 1 日より、変額個人年金保険「花ざかり2」の販売を開始いたします。本件は、本年 4 月 30 日付で発表いたしました、りそなグループとクレディ・アグリコル・グループとの「生命保険分野」における業務提携拡大に基づく取組みのひとつです。本商品は、変額個人年金保険「チョイス&チェンジ」(昨年 11 月販売開始)に続き、本年 2 月に期間限定で販売した「花ざかり」シリーズの第 2 弾であり、お客さまの「一定条件下で年金原資(一時払保険料相当額)を確保しながら、安定した収益を得たい」というニーズにお応えすべく、りそなホールディングスとの共同開発による同グループ専用商品となります。

本商品は、シンプルな商品性を追求するとともに、特別勘定の投資対象ファンドに特徴を持たせたイノベーティブ(革新的)な変額個人年金保険となっております。特別勘定の主な投資対象として、リスク軽減型の投資信託を組み入れることにより、①定額の収益分配金受取、②早期償還の機会、③一定条件下での満期償還時の年金原資確保、の機能を実現しました。(但し、一定条件に満たない場合、年金原資は一時払保険料相応額を大きく下回る可能性があります。)また、主な保険機能を「死亡保険金として一時払保険料相当額(基本保険金額)を最低保証する」ことにとどめ、その他の機能をシンプルにすることで、保険関係費用を抑えた商品としています。さらに、ライフスタイルに応じて受取期間・受取方法を柔軟に設定することが可能です。

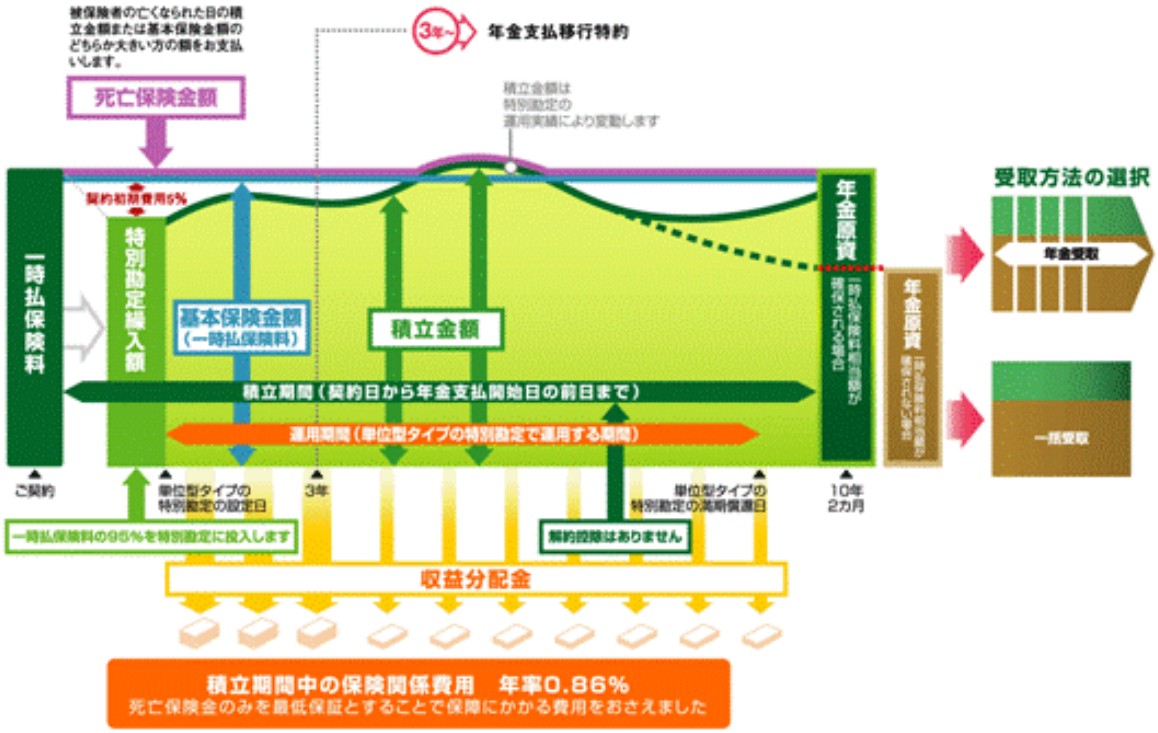
クレディ・アグリコル生命ならびにりそなグループは、今後もお客さまのニーズに合わせて商品ラインアップを拡充してまいります。

以　上

【問合わせ先】
クレディ・アグリコル生命:03-3593-8111 （広報担当:田中）

「花ざかり2」の商品概要

■「花ざかり2」のしくみ図



■「花ざかり2」の特徴

1．革新的な特別勘定

➢ 特別勘定の主な投資対象として、リスク軽減型の投資信託を組み入れることにより、以下の機能を実現しました。

①定額の収益分配金・・・・原則として毎年 1 回の定額の収益分配金を受け取ることが可能です。収益分配金は日経平均株価の推移や為替レートの変動によって変わることはありません。

②早期償還の機会・・・・運用開始約 3 年後より、日経平均株価の水準次第で、一時払保険料相当額を確保して毎年 1 回早期償還の機会があります。ただし、早期償還した場合には、それ以降の分配金は支払われません。

③一定条件下での満期償還時の年金原資確保・・・・早期償還せずに満期償還する場合の年金原資は、一定の条件下で一時払保険料相当額を確保します。

【注意点】

① 満期償還時に一定条件を満たさない場合は、年金原資は一時払保険料相当額を大きく下回る可能性があります。

②投資対象のリスク軽減型の投資信託では、運用実績が良い場合であっても、年金原資は一時払保険料相当額を上回ることはありません。

2. シンプルな商品設計

- 主な保険機能を、「死亡保険金として一時払保険料相当額（基本保険金額）を最低保証※する」ことにとどめ、その他の機能をシンプルにすることで、保険関係費用を抑えた商品としています。

  ※解約払戻金、年金原資等には最低保証する機能はありませんので、特別勘定の運用状況によっては、解約払戻金、年金原資等は一時払保険料相当額を下回るおそれがあります。

3. 柔軟な年金受取

- ライフスタイルに応じて受取期間・受取方法を柔軟に設定できます。
- 契約後 3 年経過以降に選択できる「年金支払移行特約」により、積立金額の全部または一部を確定年金としてお受取になれます。また、「遺族年金支払特約」の付加により、死亡保険金を年金として受取ることもできます。

■主なお取扱いについて

募集期間	平成 20 年 7 月 1 日（火）～平成 20 年 8 月 8 日（金）
被保険者のご契約時の年齢	0 歳～75 歳　※年金種類により契約年齢に一部制限があります。
一時払保険料	100 万円以上 3 億円以下（1 万円単位）
診　　査	職業告知のみ
積立期間	10 年 2 ヵ月
年金種類	●確定年金　支払期間：　5、10、15 年 ●保証期間付終身年金　保証期間：　5、10、15 年 ●保証期間付夫婦年金　保証期間：　5、10、15 年
増　　額	お取扱いしません。
解　　約	解約時の積立金額を払戻します。解約控除はありません。
特　　約	年金支払移行特約、遺族年金支払特約
収益分配金	原則として毎年 1 回お支払いします。
契約者貸付	お取扱いしません。

【投資リスクについて】

この商品は一時払保険料を特別勘定（ファンド）で運用し、特別勘定の運用実績によって積立金額、死亡保険金額、解約払戻金額、および将来の年金額が増減するしくみの保険商品です。特別勘定における資産運用には、価格変動リスク、信用リスク、為替変動リスク、金利変動リスク、カントリーリスクなどのリスクがあり運用実績によってはご契約者がお受取りになる年金額や解約払戻金額が一時払保険料の合計額を下回り、ご契約者が損失を被ることがあります。これらのリスクはご契約者に帰属しますのでご注意ください。

■諸費用

この商品にかかる費用*1は、「契約初期費用」、「保険関係費用」、「運用関係費用」 と年金受取期間中の「年金管理費用」の合計となります。

ご契約時	契約初期費用		当保険の新契約成立等の為に必要な費用。一時払保険料に5%を乗じた金額を特別勘定への繰入前に控除します。
積立期間中	保険関係費用*2		当保険の維持管理や死亡保障等をするための費用。特別勘定の積立金に対して年率 0.86%
	運用関係費用*3		特別勘定の運用に係る費用で信託報酬およびその他の費用
		信託報酬	単位型タイプの特別勘定の投資対象となる投資信託の元本総額に対して年率 0.2625%(税込)
		その他費用	信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等の運用に関わる費用。費用発生前に金額や計算方法を確定することが困難なため、表示することはできません。
年金受取期間中	年金管理費用		年金の支払や管理等に必要な費用。年金支払金額に対して 1%

*1 当初設定された単位型タイプの特別勘定が早期償還し、次に新規で単位型タイプの特別勘定が追加設定される場合があります(ただし、単位型タイプの特別勘定は追加設定されない場合があります)。追加設定された単位型タイプの特別勘定に積立金の移転を行う場合は、新規設定される単位型タイプの特別勘定に移転する金額に対して 2%の移転費用がかかります。

追加設定された単位型タイプの特別勘定に積立金の移転を行った場合の費用は、「契約初期費用」、「運用関係費用」、「保険関係費用」と積立金の「移転費用」と年金受取期間中の「年金管理費用」の合計になります。

*2 金融市場型特別勘定「マネー0808(RG3)」に積立金が組入れられる場合は、1 保険年度 180 日まで、保険関係費用を優遇します。

*3 金融市場型特別勘定「マネー0808(RG3)」は、弊社による預金での運用となるため運用関係費用はかかりません。

【その他の注意事項】

- この商品はクレディ・アグリコル生命を引受保険会社とする生命保険商品です。預金ではありませんので、預金保険の対象とはなりません。
- この商品は引受保険会社および募集代理店である銀行による元本・利回りの保証はありません。
- 生命保険会社の業務または財産の状況の変化により、ご契約時にお約束した保険金額、年金額等が削減されることがあります。なお、生命保険会社が破綻した場合には、生命保険契約者保護機構により保護の措置が図られますが、ご契約時にお約束した死亡保険金額・年金額等が削減されることがあります。
- 生命保険の募集において、銀行は募集代理店であり、お客さまと引受保険会社との保険契約の媒介を行い、保険契約締結の代理権はありません。
- 法令上の規制により、お客さまの勤務先によって募集代理店である銀行では変額個人年金保険をお申込みいただけない場合があります。
- クーリング・オフ制度の対象商品です。

この資料は商品の概要を説明したものです。ご検討にあたっては、「契約締結前交付書面＜契約概要／注意喚起情報＞」および「商品パンフレット」を必ずご覧ください。またご契約の際は、「ご契約のしおり・約款」および「特別勘定のしおり」を必ずご覧ください。

参考資料

■クレディ・アグリコル・グループ概要

クレディ・アグリコル・グループは 1894 年フランス(パリ)に設立された、総資産 1 兆 5,408 億ユーロ(約 259 兆 1,000 億円※1)、株主資本合計 647 億ユーロ(約 10 兆 8,800 億円※1、世界第 8 位(Tier 1)※2)、純利益 59 億ユーロ(約 1 兆円※1)を有する総合金融グループです。

その事業分野は、持株会社であるクレディ・アグリコル・エス・エーを中心に、「フランス国内リテール銀行部門」、「専門金融サービス部門」、「保険・資産運用・プライベートバンキング部門」、「法人営業・投資銀行部門」、「国際リテール銀行部門」の 5 部門から組織されております。各部門の中には、地方銀行 39 行のほか、LCL(クレディ・リヨネ)、カリヨン銀行(投資銀行)、クレディ・アグリコル　アセットマネジメント(資産運用会社)を有しております。特に保険会社としては、プレディカ(生命保険)、パシフィカ(損害保険)、フィナレフ・アシュアランス(団体信用生命保険)があり、フルラインで商品を展開しております。

最近では、イタリア、ポルトガル、ポーランド、ギリシャ、中東等に所在する海外の銀行、保険会社、資産運用会社との提携およびパートナーシップにより、国際的に組織を拡大しております。

※1 2007 年 12 月 31 日現在、1 ユーロ＝168.16 円で換算。　※2 出典:The Banker 、クレディ・アグリコル

■日本におけるクレディ・アグリコル・グループの活動状況

日本では、法人営業・投資銀行部門に属するカリヨン・グループ(カリヨン銀行およびカリヨン証券)と資産運用部門に属するクレディ・アグリコル　アセットマネジメント株式会社(以下、「CAAM」といいます。)等が事業を展開しております。CAAM は、リスク軽減型投資信託および条件付元本確保型投資信託の販売を通じて、日本におけるリテール事業を拡大することに成功しております。

また、カリヨン・グループは、法人・機関投資家向けに広範なストラクチャード商品を提供することにより、ストラクチャード・ファイナンスおよびキャピタル・マーケット等の分野で確固たる地位を築いております。そして、CLSA の株式売買業とカリヨンフィナンシャルの先物仲介業により、日本におけるカリヨンの組織は、急速に発展し確立されました。

■クレディ・アグリコル・グループの生命保険事業

クレディ・アグリコル・グループは、1986 年にフランス初のバンカシュアランス専門の生命保険会社であるプレディカを設立し、以来 20 年以上にわたり、バンカシュアランスのパイオニアとしてフランス国内において生命保険ビジネスを確立してきました。

現在、フランスにおける生命保険商品の販売額をチャネル別にみると、バンカシュアランス経由のシェアが全体の 6 割を超えております。プレディカは、2006 年度の収入保険料において、フランス国内の生命保険市場全体※の 16%以上のシェア(生命保険会社で第 2 位、バンカシュアランス専門の生命保険会社で第 1 位)を獲得しております。

フランス国外においても、クレディ・アグリコル・グループは、ポルトガルにバンカシュアランス専門の生命保険会社を設立し、同国内第 3 位の規模の実績を誇っております。また、イタリアやギリシャでも際立った存在となっております。　(※出典:フランス生命保険協会　統計)